

令和3(2021)年度の研修事業について

1 オンラインを活用する基本研修

(1) 中堅教諭等資質向上研修(小・中)、(高・特)

ライブ型で1日実施します。

(2) 教職20年目研修(小・中)、(高・特)

オンデマンド型で1日実施します。

～教職員の働き方改革の視点を踏まえ、今般の新型コロナウイルス感染症の影響に伴う「新しい生活様式」の下で、対面・集合型研修とオンライン研修等とのベストミックスによる効果的な研修の充実を図ります～

2 新規に開設する研修

(1) 小学校英語実践研修

小学校における英語教育の一層の充実のため、小学校教員の英語力の強化と授業力の向上を図ることを目的とする小学校英語実践研修を令和3年度から令和6年度まで各年度3日実施します。(新型コロナウイルスの感染症の感染拡大防止対策のため、令和2年度は中止としました。)

(2) 共通教科情報指導力向上研修(高・特)

新しい学習指導要領を踏まえた指導の在り方について理解し、特にプログラミングの知識や技能、データの活用方法を身に付けることを通して、指導力の向上を図ります。令和3年度から令和5年度まで学校悉皆で実施します。

(3) タブレット活用研修

令和2年度に各市町で実施された研修内容等を踏まえ実施します。研修実施日、研修内容等については後日通知します。

3 とちぎの教育未来塾のリニューアル

「語りあい、学びあい、高めあう」をスローガンとし、互いの教育観について、教諭や講師、学生等がそれぞれの立場から意見交換し、とちぎの教育未来塾を通して学び続ける姿勢を醸成します。

第1日に、須藤 稔 元県教育長、第5日に、荒川 政利 県教育長の講話を予定しています。

受講申込みは7月から開始する予定です。当センターWebサイトにてお知らせします。

【問合せ先】研修部 (Tel 028-665-7202)

次年度も校内研修等を継続して支援します

今年度までと同様に次年度も、先生方にとってよりよい校内研修となるようにセンターの社会教育主事や指導主事が学校に伺い、講師としてお手伝いをさせていただきます。日時、内容など各学校の御要望に応じることが可能です。

・受付は随時行っています。以下の表を御確認の上、担当部へ電話でお申込みください。

社会教育に関する研修支援			生涯学習部 TEL 028-665-7206
No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	人権学習	50～120分	参加体験型の学習をとおして、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。
2	学校・家庭・地域の連携	50～120分	学校運営会議等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験をとおして学びます。
3	保護者対象の学習会	50～120分	保護者会(学年・学級懇談会)・PTA等における保護者同士の話し合い等の学習活動を充実するため、親学習プログラムの活用などを中心に、ファシリテーター(進行役)の役割や進め方について学びます。

校内研修に関する支援			研究調査部 TEL 028-665-7204
No.	テーマ	目安時間	内容
1	マネジメント	45～80分	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を取り入れながら、学校の教育目標の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。
2	危機管理	45～80分	学校における危機について、ワークショップを通して考えながら、組織全体の危機管理意識を高めます。
3	「指導と評価の一体化」のための学習評価	45～80分	新しい学習指導要領の方向性を理解し、評価規準の作成や評価の実施など、学習評価の基本的な考え方について理解を深めます。
4	各教科等の授業研究会	45～80分	ワークショップ形式などで授業研究会を行い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげます。
5	総合的な探究の時間【高等学校】	45～90分	探究活動のねらいや、「総合的な探究の時間」を充実させるための方策などについて、探究の4つのプロセスなどを体験しながら学びます。
6	道徳教育【小学校・中学校】	60～90分	「考え、議論する道徳」の授業の実現に向けたポイントを理解します。よりよい授業づくりに向けたアイデアなどを学びます。
7	プログラミング教育(初級編)【小学校】	60～90分	プログラミング教育の趣旨を理解します。プログラミング的思考や、パソコン等を用いた実際のプログラムなどについて、基礎を学びます。
8	情報モラル教育	45～90分	児童生徒の実態を踏まえ、ネット上で起きている問題とその予防や対応の仕方を学びます。ワークショップを通して、更に理解を深めます。
9	遠隔授業(Zoomの使い方、動画編集等)	45～120分	Zoomで遠隔授業を主催する方法、PowerPointを用いた動画編集、YouTubeへの動画アップの方法などを学びます。(少人数でも実施します)

教育相談・特別支援教育に関する学校支援			教育相談部 TEL 028-665-7210 7211
No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	児童生徒とのかかわり	50～90分	児童生徒とのかかわりの基本(カウンセリングマインド、みる・きく・はたらきかけるなど)、児童生徒の理解、一人一人を「認める」について考えます。
2	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づきいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応についてについて考えます。
3	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校の初期対応、不登校の未然防止、登校支援、組織的対応等について考えます。
4	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。
5	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。 ※Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。
6	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。 ※自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。
7	事例検討	60～90分	指導・支援の方針や具体策を各学校の先生方と一緒に考えます。 ※学校生活や発達に関する悩み・不安を抱える児童生徒へのかかわり、組織対応、保護者との連携についての内容とすることも可能です。

幼児教育・幼小接続に関する研修支援			幼児教育部 TEL 028-665-7215
No.	テーマ	目安時間	内容
1	幼小接続期の教育の充実	60～90分	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえ、接続期のカリキュラムを見直し、幼小接続期の教育の在り方について考えます。
2	子どもの育ちと学びをつなぐために	60～90分	幼児期の指導要録の意義や役割について学び、小学校において一人一人が自分らしさを発揮し、生き生きと学ぶための指導の在り方について考えます。

なお、テーマに無い研修に関しても承れることがありますので、御相談ください。

当センターの調査研究の成果をまとめた冊子・パンフレット等の紹介

令和3（2021）年3月発行予定（4月に各学校に発送し、当センターWebサイトに掲載します）

① 実践事例にみる地域と連携した学習機会創出のヒント



生徒の社会参画意識を高めるには地域活動が有効です。教育活動に地域活動を取り入れるためのポイントについて、事例調査から得られた結果をリーフレットにまとめました。地域活動に取り組む際の参考になります。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/research>

Webサイト「とちぎレインボーネット」にて掲載（3月末予定）

【問合せ先】生涯学習部（TEL 028-665-7206）



② 「見方・考え方」を意識した授業づくり

～資質・能力の育成に向けた授業改善～（小・中学校段階）



いつもの授業に、「子どもたちが見方・考え方を働かせるには」という意識を加え、授業改善を行うことで、子どもたちの学びがより深めることができます。深い学びの鍵である「見方・考え方」を意識した授業づくりについて説明したパンフレットです。概論と授業事例で構成されています。

http://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/?page_id=23

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



③ 問いは意図 ～教師の意図ある働きかけで生徒の学びを深める～

（高等学校段階）



みなさんは何をねらって「問い」を発しますか？資質・能力の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につながる視点の一つとして「問いの工夫」に着目しました。国語科、地理歴史科、公民科、数学科、理科、外国語科（英語）の授業における「問いの工夫」を紹介しています。

http://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/?page_id=23

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



④ 「総合的な探究の時間」の充実

～新しい時代に求められる資質・能力の育成を目指して～

（高等学校段階）



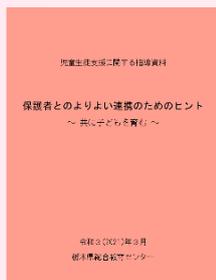
高等学校で令和元年度からスタートした「総合的な探究の時間」について、より充実した活動にするためのポイントを、県内8校の実践事例とともにまとめました。また、この時間を進める上での、よくある困りごとをQ&A形式で掲載してあります。指導計画を立てたり、探究活動を指導したりする際の参考になります。

http://www.tochigi-edu.ed.jp/educenter/?page_id=23

【問合せ先】研究調査部（TEL 028-665-7204）



⑤ 保護者とのよりよい連携のためのヒント ～共に子どもを育む～



保護者との関係づくりや、連携を深める際に心がけたいポイント等について、Q&A形式でまとめています。子どもの支援のためには保護者との連携が欠かせません。対応に困ったときだけでなく、日頃から、保護者とのかかわりの参考とすることができます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r02-2.htm>

【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)



⑥ 特別支援学校（知的障害）における国語科の指導の充実

～平仮名の指導～



知的障害のある児童生徒の学習上の特性等を踏まえた平仮名の読み書きの指導について、具体的な指導内容や指導例を交えて紹介しています。小・中学校の特別支援学級の先生方にも、平仮名の指導を行う際の参考とすることができます。

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/sodan/cyosa/cyosa-r02.htm>

【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7210・7211)



⑦ 幼児教育において育みたい資質・能力を育むために

～「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から～



具体的な子どもの姿から、幼児教育において育みたい資質・能力を捉え、資質・能力を育むために大切にしたいことについてリーフレットにまとめました。幼小連携を推進する際の参考になります。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/cyosa/menu.htm>

【問合せ先】幼児教育部 (TEL 028-665-7215)



栃木県総合教育センターWeb サイト（<http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/02chosa/index.htm>）には、昨年度までの冊子やパンフレットも多数掲載しております。

御自身の目的に応じたものがあると思いますので、御確認の上、ぜひ御活用ください。

[過去の調査研究例]

- ・高等学校における「総合的な探究の時間」に関する調査研究
- ・「考え、議論する道徳」の授業づくり（中学校段階）
- ・「学校におけるOJT」に関する調査研究
- ・高等学校における教科指導充実に関する調査研究
- ・「情報モラルの育成」に関する調査研究（小・中・高の各学校段階）
- ・自ら安全に気を付けて行動する子どもを育むために～幼児期にふさわしい生活を通して～（PDF）
- ・児童生徒への適切な指導のために～子どもの理解を深める～（リーフレット）
- ・地域活動の参加促進に向けて～地域課題に関する調査研究～ など